

令和元年度都井地区

認知症高齢者徘徊模擬訓練まとめ

～認知症高齢者と共にあゆむ(やさしさでつながる)地域づくり～

2019/11/24



都井地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会
社会福祉法人串間市社会福祉協議会

参加者の皆様

ご協力いただきました各関係者の皆様

ありがとうございました！

都井地区認知症高齢者徘徊模擬訓練まとめ
～認知症高齢者と共にあゆむ(やさしさでつながる)地域づくり～

————— 実施主体 —————

都井地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会
社会福祉法人串間市社会福祉協議会

————— 協力団体等 —————

都井地区住民のみなさん
都井地区民生委員児童委員協議会
都井地区食生活改善推進協議会
都井地区健康づくりサポーター会
串間警察署・都井駐在所
串間消防署・都井消防分団
医療法人社団とめのファミリークリニック
宮崎県防災士ネットワーク串間支部
串間市キャラバン・メイト
串間市（危機管理課・福祉事務所・医療介護課）

認知症高齢者徘徊模擬訓練は・・・
認知症をきっかけに誰もが安心安全に
暮らし続けられる地域づくりの一手段



- ①認知症の理解(我がこととして)
⇒ 認知症勉強会
- ②認知症の理解(手助けを必要とする人のために)
⇒ 認知症サポーター養成講座
- ③地域まるごと認知症ケア(専門医による講義)
⇒ 認知症地域フォーラム
- ④小地域で住民自身が支援活動を展開(体験)
⇒ 認知症高齢者徘徊模擬訓練



地域における問題点と課題については
住民自身が抽出⇒認知症徘徊模擬訓練
後の振り返りで共通理解



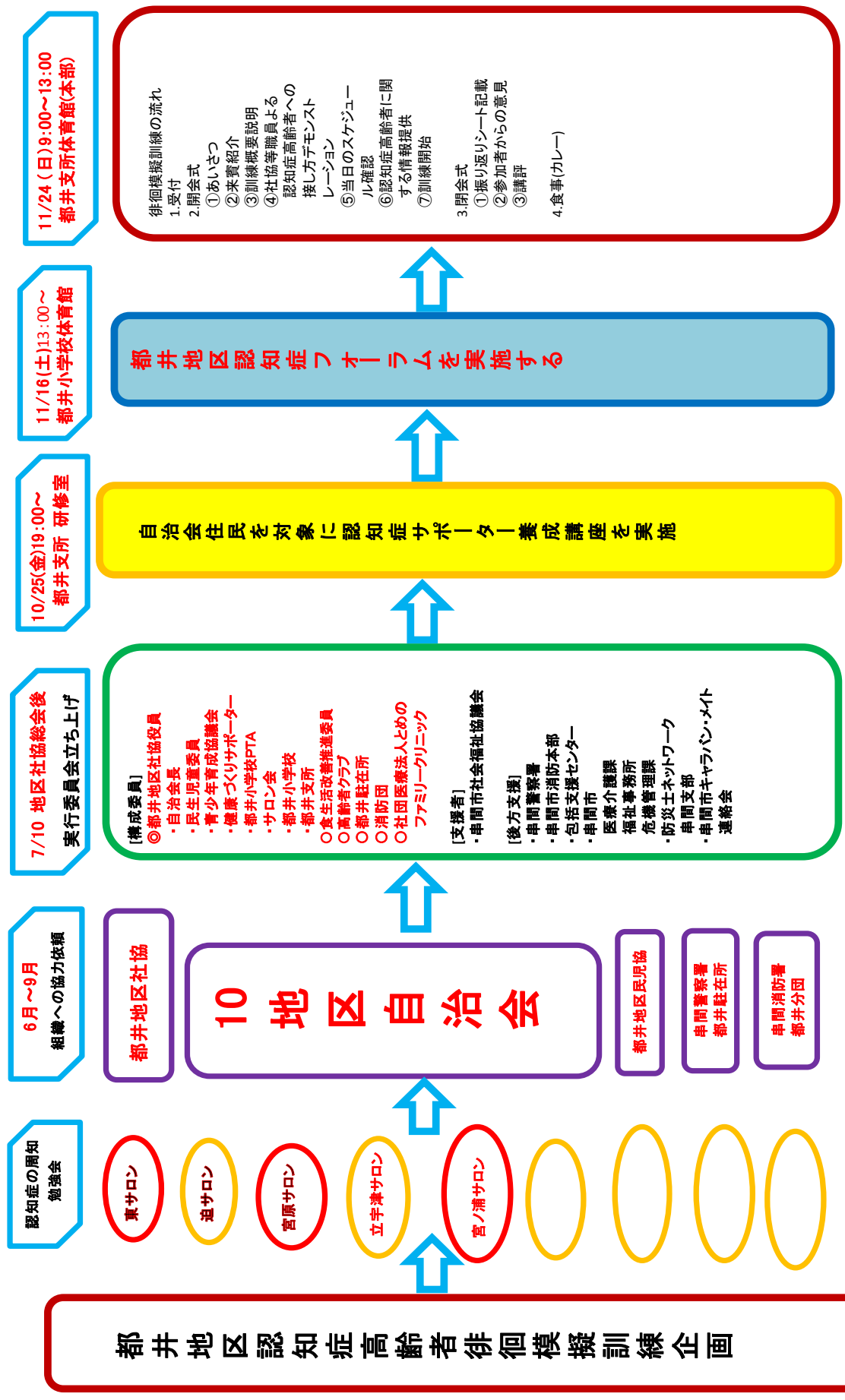
問題解決に向けて・・・
まず、自分のこととして考え隣近所
がお互い様の気持ちで助け合い、
自治会や関係機関と共に支え合う。
⇒ 自助・互助・共助・公助



誰もが安心安全に暮ら
し続けられる地域づくり

令和元年度 都井地区認知症高齢者徘徊模擬訓練に向けて

令和元年5月24日作成 7/10更新
 串間市社会福祉協議会 地域支援課
 認知症地域支援推進員 深江



① 都井地区における認知症勉強会



さあ、認知症を自分のこととして考え、正しく理解しましょう！
迫地区・東地区・宮浦地区サロン会で勉強会を開催。
認知症の原因疾患や症状、発症を遅らせる生活習慣等について勉強しました。
認知症の人の気持ちを理解し、適切な対応をしていきましょう



自治会及び都井地区社会福祉ふれあい推進 連絡協議会への協力依頼



7月10日(水)19時より、ふれあいセンターにおいて、都井地区社協の役員の皆様及び10地区自治会の会長様に出席いただき、令和元年度認知症地域支援・ケア向上事業に係る4つの事業について説明、地域住民の皆様が主体となって実践していただけるよう、協力をお願いしました。



各戸配布

認知症って
どんな病気？



都井地区自治会 認知症サポーター 養成講座開催

●日時：令和 元年 10 月 25 日（金）

19 時 00 分～20 時 30 分頃

●場所：都井支所 2 階 研修室

●内容：認知症ってどんな病気？ どんな症状なの？
私たちは、どんなふうにかかわればいいのか？
実は・・・「もの忘れ」と「認知症」は違うんです！
知っているようで、知らない「認知症」について学ぶ講座です。

●申込：別添の「申込用紙」にお名前を記載してください

<今後の予定>

11 月 16 日（土） 都井地区 認知症フォーラム 開催

11 月 24 日（日） 都井地区 徘徊模擬訓練 実施予定！

お問合せ先：串間市社会福祉協議会 ☎0987-72-6943（深江まで）

② 令和元年度 都井地区認知症サポーター養成講座



10/25、都井支所での認知症サポーター養成講座に **33名**の方が参加、**キャラバンメイト7名**による講義や寸劇により認知症の理解を深め、認知症の方への対応の在り方を学んでいただきました。

今日から、私たちが支援していきます！

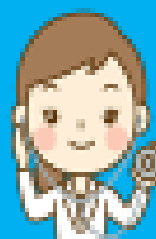


都井地区

認知症フォーラム 開催！

～認知症高齢者と共に地域を(やま)しまでつながら
地域づくり～

誰でもかかる可能性がある“認知症”
認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるため
には、地域の皆さん一人ひとりの理解が最も大切です。



講師

医療法人 十徳会 厚南病院
内科医 川崎 由香 氏
認知症リポート委員
(オンラインリポーター)

令和元年 11月16日(土)

時間：13時00分～15時30分

会場：都井小学校体育館

講演：認知症を正しく理解しみんなで支え合う

～地域まるごと認知症ケア～

認知症徘徊模擬訓練



— プログラム —

- 9:00～9:30 受付
- 9:30～10:00 開会式
- ① 主催者あいさつ
- ② 来賓紹介
- ③ 訓練概要説明
- ④ 声かけ・探し方(寸劇)
- ⑤ 認知症高齢者に対する情報提供
- 10:00～11:00 訓練開始
- 11:00～11:20 訓練終了(休憩あり)
- 11:20～12:20 閉会式
- ① 表彰状の授与
- ② グループ写真・発表
- ③ 挨拶あいさつ
- 12:30～13:00 昼食・交流会

認知症になると、道に迷ったり、自分がどこにいるか分からなくなり、道に迷れ
たりすることがあります。できる限り多くの人の目で見守り、任意受検で受けるこ
とが大切です。

この訓練を通して、道に迷われた方への探し方を体験してみよう。

令和元年 11月24日(日)

時間：9時00分～13時00分

場所：都井支所 体育館(雨天決行)

お昼は、みんなでカレーを食べよう！



主 催：都井地区社会福祉協議会(都井地区社協)

社会福祉法人中野市社会福祉協議会(中野市地域包括支援センター含む)

お問い合わせ先：社会福祉法人中野市社会福祉協議会 地域支援課(担当：栗江) ☎0987-72-6043

③ 令和元年度 都井地区認知症フォーラム

令和元年 11月16日(土)



県南病院認知症サポート医の川崎由香先生や理学療法士・作業療法士による講演やコグニサイズ、頭の体操と盛りだくさんの内容に、参加者の皆様も真剣に受講。認知症への理解も深まり、不安なく安心して暮らせる地域づくりについてたくさんのご意見をいただきました。尚、10/25のサポーター養成講座を受講された住民(17名)を含め46名のサポーターが参加、認知症への理解を深めることができました。

令和元年度 都井地区認知症高齢者徘徊模擬訓練

～認知症高齢者と共にあゆむ（やさしさでつながる）地域づくり～

1. 目的

認知症になると、道に迷ったり自分がどこにいるのかがわからなくなり、家に帰れなくなることがあります。現在、認知症高齢者(予備軍を含む)が推計で500万人以上とも言われている状況の中、平成29年度の徘徊行方不明者は全国で1万5千人を超えています。できる限り多くの人々の目で見守り、住民全体で支えることが大切になってきます。

そこで、地域の皆さんが認知症を正しく理解し、やさしく声かけや見守りができるようになると共に、関係機関団体等がより一層連携し、小地域での支援活動を展開すると共に認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができることを目指して開催するものです。

2. 実施主体

都井地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会（都井地区社協）
社会福祉法人串間市社会福祉協議会（地域包括支援センターを含む）

3. 協力団体等

串間警察署・串間消防署・都井地区自治会・都井地区民生委員児童委員協議会
都井地区高齢者クラブ連絡会・都井地区健康づくりサポーター・都井地区食生活改善推進協議会・とめのファミリークリニック・防災ネットワーク串間支部
・串間市キャラバンメイト・串間市(危機管理課、福祉事務所、医療介護課)

4. 日時及び会場

日時：令和元年11月24日（日曜日）受付9：00 開会9：30～13：00
会場：都井基幹集落センター 体育館(本部) ※徘徊模擬訓練実施地域；別添地図参照

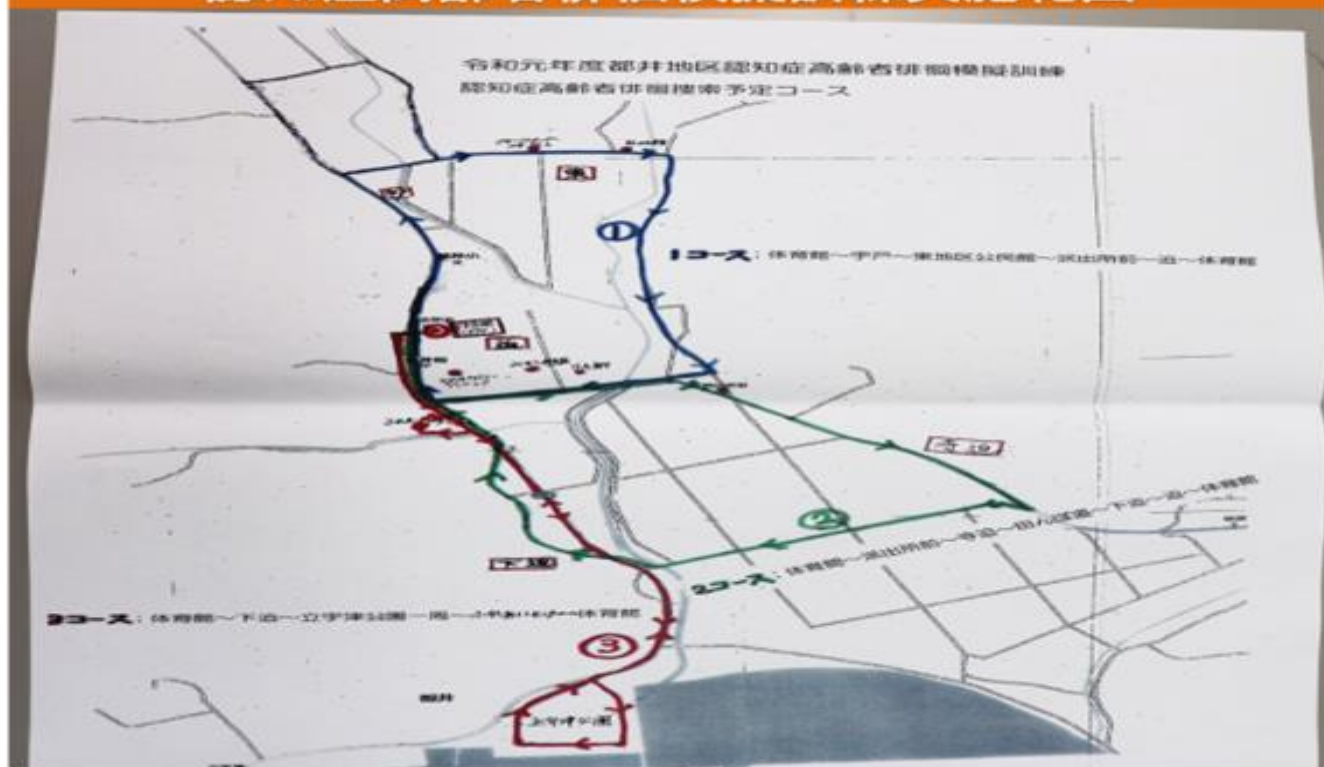
5. 参加対象者

都井地区住民・都井地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会会員（自治会・民生委員児童委員・高齢者クラブ・食生活改善推進員・健康づくりサポーター・青少年育成協議会・消防団・医療介護施設等）その他保健福祉関係団体及び一般市民等

6. 内容

- (1) 開会式(挨拶、訓練概要説明、声掛け・接し方(寸劇)、認知症高齢者に対する情提供)
- (2) 徘徊模擬訓練(グループに分かれ、3つのコースで実施する)
- (3) 閉会式(振り返りシート記入・グループ共有、発表・講評、挨拶)
- (4) 昼食・交流会

認知症高齢者徘徊模擬訓練実施範囲



27

当日のタイムスケジュール



9 : 3 0	開会式 グループごとに着席(12~13名×6グループ) ※メンバー:自治会長、地区民生児童委員、消防団、防災士、スタッフ(キャラバンメイト、市・社協職員)、班員6~7名(地域住民・関係機関)参加者 120名 ※キャラバンメイトによる寸劇(認知症の人への対応)
10 : 20 10 : 40	荒天のため室内での訓練に内容変更 配布資料により認知症対応復習 認知症高齢者への対応(声掛け体験) グループに配置された認知症役へ実際に声掛けを行う。(2~3人)
11 : 10	振りかえりシートの記入 個人ワーク
11 : 20	グループ共有 課題抽出
11 : 30	閉会式 グループごとに発表・講評
12 : 10	昼食タイム 交流
13 : 00	終了

28

参加人数 120名（スタッフ含む）



※今回は参加者の65%が認知症サポーターでした。

参加者内訳

所 属	人数	認知症サポーター
都井地区住民	52	27
①自治会	32	12
②地区民生・児童委員協議会	8	8
③食生活改善推進協議会	2	2
④健康づくりサポーター	5	5
⑤消防団	5	0
とめのファミリークリニック	22	10
宮崎県防災士ネットワーク串間支部	5	5
串間警察署	4	3
串間市キャラバン・メイト等	6	5
串間市役所	5	3
串間市社会福祉協議会	26	25
合 計	120	78

実施の様子



スタッフの打ち合わせ

各グループごとに整列、自治会長・民児協委員・消防団・防災士・キャラバンメイト等、各々の役割について説明。



受付

あいにくの雨の中、参加者が続々来場。腕にはしっかりとオレンジリングが光っています。



参加者はグループで自己紹介

「皆さん、私は5グループのリーダー〇〇です。今日は皆で頑張っていきましょう!!」それぞれが自己紹介を行い、久しぶりに会われる方もあり、とても良い雰囲気です🍃



主催者あいさつ

都井地区社会福祉ふれあい
推進連絡協議会
迫田幸四郎会長のあいさつ



協力機関の皆様

串間市役所
串間警察署・都井駐在所
とめのファミリークリニック

認知症の人への対応(声かけ) キャラバン・メイトによる寸劇

1.不適切な対応



認知症と思われる高齢者を 3 人で取り囲み「名前は? どこから来たのかな? なんしょりゃっと!! どんこん行くとかな!!」と、矢継ぎ早に質問。本人さんは、驚きと不安、恐怖で何も答えられません。



挙句の果てに、「訳が分からんかい駐在所に連れて行こや!!」と、嫌がる本人さんの腕をつかみ、無理やりに連れて行こうとしています。ご本人はどのような気持ちになられたでしょうか?・・・

2.適切な対応



対応の7つのポイント

- ①まずは見守る
- ②後ろから声をかけない
- ③声をかけるときは一人で
- ④相手に目線を合わせてやさしい口調で
- ⑤おだやかに、はっきりした話し方で
- ⑥相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する。
- ⑦余裕をもって対応する。

寸劇キャスト紹介



キュウリ作り農家
鍋倉加代子
神菌亜由美
廣見早智代



認知症の高齢者；谷村一子
家族(嫁)：渡曾幸恵



ナレーター 深江ちかえ

訓練から振り返りへ

NHK テレビの取材に緊張！

1 グループ

目線を合わせて 「大丈夫ですか？」



振り返り記載



まとめ発表します



1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- おだやかに、落ち着いて聞かなくてはいいが難しい。
- 自分の声がどうしても大きくなってしまふ。普段と違うことをするのは難しい。
- 寸劇を見るのと実際に行うのは違う。難しい。慌ててしまふ。
- 質問に対する答えがあやふやで、聞きたいことを把握できない。⇒ 引き出し方が難しい。
- 本人の名前より家族の名前を聞く方がいいかも・・・
- 連絡も「警察」とか言うと怯えさせるので、通報の仕方もある必要がある。
- 認知症の方の頭の中は分からないが、根気強く対応していくことが大切。

2. 全体を通して

- 徘徊訓練の中で色々な認知症の方のパターンを学ぶと良い。
- 都井で働いているが、地元でないので地名がピンとこない。地域のネットワークが必要。
- 地域として、普段から近所へのかそくの声かけが必要。
- 認知症であることを隠さない。

訓練から振り返りへ

2グループ



前方から声をかけます



トイレに行きたいんだけど・・・



グループ全員で振り返り



2グループは・・・

1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- 最初の一言が出れば、あとはホッとする。初めの一步を踏み出す勇気を持てることが大事。
- 声かける側がまず余裕を持つこと。声をかける前に一呼吸おいて、先ず自分が落ち着くこと。
- 相手に警戒されると話ができなくなってしまうので、第一印象最初の声掛けが大切。
- 自分が今どこにいるのか、自分が誰なのかも分からず本人が一番本当に不安なんだと思う。
「多大丈夫ですよ、心配しなくてもちゃんと家に帰れますよ。」など、安心してもらえるような声をかけたいと思う。
- 声をかける(呼び止める)タイミングがつかめなかった。
- 認知症役の人が色々な事を言われるが、どの程度聞き出して良いのか難しかった。
連絡先のヒントを見つける事がなかなか大変だった。先ずは優しい気持ちを持つ事が大事。
- 認知症の方への理解、認識不足からか意思の疎通が、こちらが思うように取れない。

2. 全体を通して

- 何年前かに認知症の人が行方不明になったことがあった。かなりの人数をかけて捜したが、簡単には見つからなかった。徘徊者を捜すのは大変だと分かっているので、日頃から目配り気配りが大事だと思う。
※地域住民の目が非常に重要だと感じる。
- 雨で館内での訓練だったが、とても良かった。危険個所の再認識も必要であると思う。
- 今回のような訓練を通じて、どこか他人事のように感じていた認知症という病気を身近に考えることができた。
- 家族の方が、最近様子がおかしいと思ったら近所の方に声をかけておくか、その人の氏名年齢住所、家族の名前を書いたカードなどを持たせると良いとの意見があり、参考になった。

訓練から振り返りへ

3グループ



椅子にかけましょうか



私は誰と話したらいいの？
一人ずつゆっくり話してね



各自、振り返り記載中です。



代表して発表します!!

1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- 認知症の方の個人情報を訊きだして、警察の人にそのまま伝えるのは難しかった。
- 通報している途中に認知症の人がどっかに行こうとするのを引き留めたり、話題を提供したりと大変。
- 訓練で大人数の中だったので、うまく対応できなかったと思う。実際の現場では本人に合わせて、ソフトな対応をしたい。
- 子供さんが参加してくれて、とても良かった。認知症の方も子供には心を開放しやすいのではと感じた。
- 言葉の使い方を考えてやさしい口調で、相手に伝える。相手に対してゆっくりとした対応が必要。
- 意思疎通が取れない方もいたので、難しいと感じる。地域の方の協力が大切だと感じた。

※地域の環境について

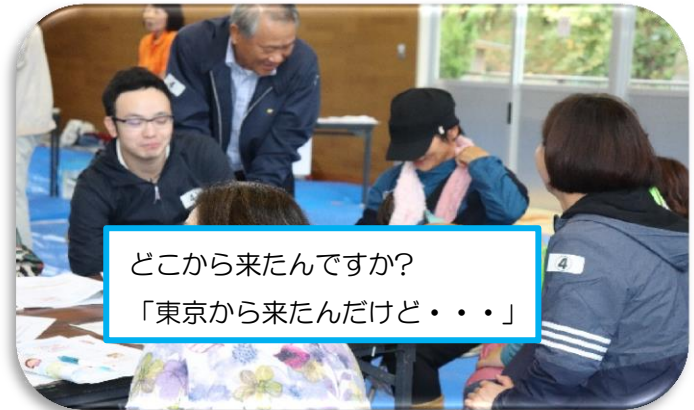
- 海岸が近いので海を見ているようなときは特に気になる。山への道もあっちこっちあるので迷われないか気になる。
- 地域の危険個所を見ておきたい。交通量の多いところは心配。田んぼとかも危険なところを把握。

2. 全体を通して

- 全体を通してとても良かった。徘徊役の方がとてもうまくて、楽しかった。
- 携帯電話だけで固定電話のない人は、家族に連絡がつけられない。
- 自分に自信が持てない状態なので、周囲の方に早目の気づきで離れている子供へ連絡をお願いしていますが、うまく機能できると良いのですが・・・
- 一人では不安、周りの人に協力を求めることが大事。
- 知識を持っているが持っていないかでも、対応の善し悪しが大きく変わる。

訓練から振り返りへ

4グループ



1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- 声をかけて名前や住まいを聞き出すのに苦労した。声掛けの難しさを再認識したような気がする。
- 短時間で氏名、住所を聞くことの難しさがある。
- 若年性の認知症で問いかけに工夫が必要だった。
- 実際の状況では、なかなか情報を聞き出せない不安もある。
- 方言で話すと良かった。言葉一つで拒否されることもあるので気を付けたい。
- 身につけているものに名前がなく、それらしいものもなくカバンの中から出して見せていただくことは難しい。個人情報のある正確な確認は難しかった。
- 前の方から声をかけてもやっぱり「びっくりした・・・何で声かけるの・・・」と怖がられてしまうので、なかなか声かけは難しい。東京から来たとき最初に言われたので、その点でも言葉かけは難しい。
- やさしく接することにより、本人も笑顔になってゆっくり話してくれた。

2. 全体を通して

- 実際経験すると非常に難しい。実践すると言葉がでてこない。
- どんな状況で徘徊者に出会うのか不明であり、先ずはその人をじっくり観察する必要がある。
- 雨天の中模擬訓練の形が違ってしたが、認知症の対応をよく学ぶことができた。認知症の方に対応したり、認知症の人の身になることの難しさ・深さを感じた。
- 徘徊をしている方を見つけて通報するまでの一連の流れと、その際のポイントが学べて良かった。
- 今後7つの注意点や聞き出す情報のポイントなども頭に入れながら、実際の時に対応できるようにしたい。今回、参加してとても勉強になりました。良い経験になった。

訓練から振り返りへ

5グループ



目線を合わせて・・・



皆さんの優しい声かけにほっと



色々参考になることが多いですね



発表します!!

1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- ・認知症状の見られる様子を日頃から共有すること。
- ・地域性の問題というか、徘徊者と顔見知りかどうかによって声掛けの仕方も変わってくると思う。顔見知りの人には声掛けやすいと思うが、そうでない場合は親しみを持ってやさしく相手に接することが大切である。
- ・住所が分からない場合は、海の方からか山の方からかどちらか訊いてみる。
- ・手足にけがはしていないか、痛いところはないか訊いてみる。
- ・声のかけ方を知れてよかった。地域のことを考えるきっかけになった。
- ・もし、我が家で認知症状の様子でも見たら、少しでも近くの人にその旨を話しておく。
- ・他の人が足元まで見ていたのが参考になった。全体の姿を見てから普段と違う点を見つけて会話する
- ・認知症の方の目線に合わせて会話することが大切だと感じる。いざ現場ではしっかり対応できるのか不安。このような訓練がとても大事になってくると思う。

2. 全体を通して

- ・高齢の母をかかえているので参加しました。身内で年齢の衰えを見るのがつらいです。
- ・地域の方のつながりがすごく大事だと感じた。認知症の方が住み慣れた地域で暮らせていけるように周りの人たちの協力が得られる地域になるといいです。
- ・地元との情報、家庭環境もある程度知っておくと良い。
- ・自分の為に参加しました。頑張るって声をかけてみようと思う。
- ・これからの日常生活の中で気を付けて見守りたいと思います。
- ・初めての事だったので難しかったです。でもとても楽しい訓練でこれから先役立てたいと思う。
- ・堅苦しくなく笑いを交えながらの声かけシュミレーションだったので、あっという間でした。



スキンシップ・目線を合わせて、優しく声かけ



皆さん、お互いの意見を共有しましょう！



地域での情報共有が大事ですね。

1. 認知症の人への声かけで難しかった点・感想などを書いてみよう。

- ・徘徊役の方のうまかったこと。話し方で本当に自分に帰るといふか周りの接し方次第で、何とかなるものだと感じました。先ず、その人が認知症であるのかどうかの判断が難しい。
- ・相手の気持ちになって接したらよいと思う。勉強になりました。
- ・いざ、それらしい人を見つけてもなかなか声がかけれない。実際に声をかけてみると安心された様子。
- ・なかなか情報を得るのが難しいと思う。また、いかに正確に素早く通報するのが難しいか良く分かった。
- ・何を聞いていいのか大変でしたが、話している間にいろいろ話すことができた。
- ・やさしく声をかけるのがやはり難しかった。
- ・みんなで声かけは楽しくスムーズに声かけられましたが、いざ、実際は慌てると思います。今日のを教訓に実行したいと思います。
- ・相手を慌てさせずに必要な情報を訊きだすことが実際難しいだろうなと思った。

2. 全体を通して

- ・いずれは我が身ということを考えれば、笑ってはいられない。本当に今後どうなるのか心配です。今日の訓練はとても有意義でした。
- ・なかなか地域の人達と顔を合わせられないので、良い機会になった。(みずなら職員)
- ・初めての事でいろいろ勉強になりました。
- ・認知症の方の気持ちを考えて寄り添うことが大切。みんなで見守ることが大切なんだと思いました。
- ・訓練に参加してこれからの対応を参考になりました。
- ・知らない方々と色々話できて良かった。(顔は観たことはあるが、名前を知らない人)
- ・皆さん、それぞれが状況を理解しとても熱心に参加されており、とても良い訓練でした。
- ・今までおじいちゃんおばあちゃんに接することがあまりなかったので、すごく勉強になりました。

協力団体からの講評



串間警察署 刑事安全生活課上柳課長
行方不明者の捜索は本人の生命にかかわるので迅速に行う必要があります。本人の状況によっては救急車優先の場合もあります！

串間市医療介護課 吉田課長
今日はいい体験ができたと思います。皆さんと協力しながら、安心安全な地域づくりを行っていきましょう！



宮崎県防災ネットワーク串間支部
木代さん「常日頃から認知症状のある方への見守りが重要です。状況によっては、命にかかわることもあります。皆で協力しましょう！

とめのファミリークリニック留野院長
今日は22名の職員が参加、都井出身は3名です。地域の方々に知っていただくいい機会になりました。いろいろな機関との協力・連携がますます必要ですね。



串間市社会福祉協議会武田会長
悪天候の中でも、都井地区の皆様が関係機関と協力して素晴らしい訓練ができました。地域づくりはまさにこの形です。今後の福祉座談会につなげていきましょう

最後に



串間市食生活改善推進協議会・都井地区健康づくりサポーターの
皆様おいしいカレーありがとうございました。





串間市社会福祉協議会は、

認知症になっても安心して暮らせる

まちづくりのお手伝いに取り組みます。



お困りごとのさいには、お気軽にお声かけください。

〒888-0001

串間市大字西方9365番地8（串間市総合保健福祉センター内）

☎（0987）－72－6943



都井地区認知症高齢者徘徊模擬訓練まとめ
～認知症高齢者と共にあゆむ(やさしさでつながる)地域づくり～

2019.11.24

作成者：〒888-0001 宮崎県串間市大字西方 9365 番地 8
社会福祉法人串間市社会福祉協議会

電話：0987-72-6943

作成協力：串間市